

第16回 ちゅうでん教育振興助成（平成28年度）

報告書資料 支援-16

学校名・団体名	石巻教育研究会 「生活科・総合的な学習の時間」部会
HPアドレス	http://www.mediaship.ne.jp/~elsmaey/
コース	教育研究
活動・研究 テーマ	ふるさとに主体的にかかわり，自分らしさを追求する子ども ～児童が共に学ぶ生活科・総合的な学習の時間の授業づくりを通して～
<p>〈活動・研究の意義，目的〉</p> <p>震災から5年が過ぎた今，子どもたちがどのように人とかわり，地域とのつながりをつくりながら生活科や総合的な学習の時間の学びを創っていくかについて，被災地石巻から生活科や総合的な学習の時間の原点に立ち返って，参加者同士で学び合い，考え合い，発信していく研究大会とする。</p>	

<活動・研究報告>

- 1 大会名 平成 28 年度 第 25 回宮城県小学校生活科・総合的な学習教育研究大会石巻大会
- 2 期 日 平成 28 年 11 月 16 日 (水) 9:30~15:45
- 3 会 場 宮城県石巻市立北上小学校 (〒986-0203 宮城県石巻市北上町長尾字松崎 1)
- 4 参加者 105名
- 5 大会主題 ふるさとに主体的にかかわり 自分らしさを追求する子ども
～共に学ぶ「生活科」「総合的な学習の時間」の授業づくりを通して～
- 6 研究目標 ふるさとに主体的にかかわり、自分らしさを追求する子どもを育てるための指導の在り方
について、共に学ぶ「生活科」「総合的な学習の時間」の授業づくりを通して明らかにする。

7 活動内容

(1) 公開授業

	2年(生活科)	3年(総合的な学習)	6年(総合的な学習)
单元名	もっとなかよし まちたんけん 「なかよくなった人のことを しょうかいしよう」	北上 里めぐり 「お米でつながる ふるさと北上」	ふるさと北上 「マイプラン北上」
授業者	石巻市立北上小学校(2年) 教諭 松川 幸浩	石巻市立北上小学校(3年) 教諭 星 深雪	石巻市立北上小学校(6年) 教諭 及川 幸司

(2) 分科会 I 「ワークショップ～明日の授業へ～」 ※公開授業ごとに分科会を実施

分科会	2年(生活科)	3年(総合的な学習)	6年(総合的な学習)

(3) 分科会 II 「研究発表・協議」

分科会	生活科1年	生活科2年	総合的な学習の時間
発表1	名取市立下増田小学校 教諭 五十嵐 洋子	宮城教育大学付属小学校 教諭 佐浦 綾香	仙台市立北中山小学校 教諭 伊藤 浩也
発表2	大崎市立清滝小学校 教諭 鹿野 祥子	登米市立浅水小学校 教諭 齋藤 ゆき 登米市立米山東小学校 教諭 千葉 美由紀	石巻市立中里小学校 教諭 中塩 道人

(4) 講演会

- ・演 題 これからの生活科・総合的な学習の時間と「アクティブ・ラーニング」
- ・講 師 猪股 亮文 氏 (仙台市教育局学校教育部教育指導課長)

8 研究の成果

「ふるさとに主体的にかかわり 自分らしさを追求する子ども」の大会主題の下、授業を公開する北上小学校を中心として授業研究を進めてきたことにより、授業者の他、事前検討会に参加した研究部員、大会に参加した教員の授業力の向上が図られた。今後も授業研究を継続することで、子どもが自ら地域の人や文化にはたらきかけて学び続けるようになり、ふるさとへの理解が深まると同時に復興に向けた生きる力が育まれるものとする。また、分科会 I では、当日行われた授業について参会者からたくさんの意見を頂戴したが、東日本大震災で大きな被害を受けた会場校である北上小学校にとって、自分たちの学校の地域の自然や人、そして文化について再認識し、子どもがふるさとに誇りと愛着がもてるような生活科・総合的な学習の時間の授業作りは大いに参考になるものであった。さらに、講演会ではアクティブ・ラーニングの考え方を含めたこれからの生活科・総合的な学習の時間の授業づくりの方向性を知るとともに、参会者の授業づくりの意欲を高めることができた。

